



稲門フィラテリー 34号で我国の切手に描かれたものを大きく分類、整理した。今回、もう少し偏見の角度を強めて、描かれたもの(切手になったもの)がどのような特定施設、機関に現存、保管されているのか、整理、分類し検討してみた。また、切手になった文化財等がどのような所に所蔵されているか、整理もしてみた。

まず、特定施設、機関で4種以上の切手になった施設は表1のように整理された。寺院、神社、城がほとんどで、国会議事堂が国、立法、条約のシンボルとして切手になっている以外では合掌造民家棟(民家をまとめて)、二条城(住居として国宝指定)がみられるに過ぎない

種々の切手にデザインを変えて描かれる国会議事堂(下、内部の天然大理石モザイクとステンドグラス)

い。国会議事堂を除くと寺院、神社で京都、奈良の世界遺産に指定された寺社が多く切手になっている。しかし、寺社によって建築物が主に切手になっているか、所蔵する文化財が主に切手になっているか見分けることが出来、その

寺社が歴史的立場か、観光資源としての立場かその扱われ方のウェイトの違いがうかがえる。法隆寺、厳島神社の建物が多く描かれているがこれはある特定の建物が描かれたためであり、実際は法隆寺は文化財が圧倒的多く、厳島神社は両者が半々となっている。法隆寺では終戦直後の五重塔普通切手の種類の多さ(6種)、厳島神社は海に建つ鳥居がおおく描かれているため(7種)である。特定の建物が多く描かれている例としては清水寺の本堂(舞台)と、陽明門の7種がある。

施設	切手種類			合計	対象物	
	ふるさと	特殊	普通		建築物	文化財
法隆寺		9	13	22	11	11
国会議事堂		22		22	18	4(内部)
厳島神社	2	15	3	20	15	5
東大寺	3	9	4	16	4	12
合掌造民家	3	11		14		
東照宮		7	6	13	8	5
平等院		4	7	11	5	6
興福寺	1	9		10	2	8
春日大社	2	4	4	10	7	3
薬師寺	1	7	2	10	4	6
首里城	6	3		9	9	
中尊寺	2		6	8	4	4
清水寺		6	2	8	8	
名古屋城	4	1	3	8	8	
姫路城	1	4	2	7	7	
熊本城	7			7	7	
中宮寺			6	6		6
二条城		2	4	6	2	4
鎌倉大仏			5	5		5
唐招提寺		5		5	2	3
金閣寺		3	1	4	4	
醍醐寺		4		4	4	1
銀閣寺		4		4	4	
松本城	3	1		4	4	
大阪城	4			4	4	





一方、文化財の点からは、東大寺、法隆寺、興福寺、中宮寺と平等院という奈良、宇治の歴史の古い寺院の文化財が多く描かれ、彫刻の国宝126件のうち70件が奈良に存在していることをうかがわせてくれる。中でも、中宮寺菩薩像(6種)、法隆寺金堂壁画侍者観音像(4種)、興福寺の阿修羅像(3種)等が多く描かれていた。

このように1つの建造物、文化財が重複して数種類の切手になることの良し悪しは別として、遷都1300年を頭に、奈良の主だった寺社所蔵の国宝件数に限定し、その切手なった件数を整理したのが表2である。元興寺を例外として薬師寺を除くと30%程度しか切手には描かれていないのが現状である。普通切手の重複を除くと思ったより特殊切手での重複は少ないようであった。しかし、室生寺の五重塔、阿修羅のように3種に描かれているような重複は検討されてしかるべきであろう。

表2 奈良の主だった寺社所蔵国宝数とそれら国宝図案切手数

寺社	建造物		彫刻		工芸		絵画		%
	国宝	切手	国宝	切手	国宝	切手	国宝	切手	
唐招提寺	5件	1件を2種	6件	1件を2種	1件				17
東大寺	8件	2件を3種	13件	5件	4件	2件を3種			32
法隆寺	18件	3件を11種	17件	1件を2種	3件	1件			13
薬師寺	2件	1件を4種	4件	3件			2件	1件	63
興福寺	4件	2件を3種	17件	4件を7種	3件				25
室生寺	3件	1件を3種	3件						17
春日大社	1件	1件を7種			12件	2件を3種			23
元興寺	3件	3件を2種	1件	1件					100
新薬師寺	1件		2件	1件を2種					33
中宮寺			1件	1件を6種	1件				50



所蔵国宝がすべて切手図案になっている元興寺の切手3種
元興寺は興福寺に近く、日本初の瓦が残る寺院

寺社について多い、城について表1に国宝指定の城(犬山、彦根)を加えて整理すると表3のようになる。寺社と2つの異なる点が考えられた。第1は建物の目的から当然であるが文化財関係が彦根屏風以外に切手になっておらず、寺社と全く異なっていた。しかも、文化財的観点よりも地域のランドマーク、観光資源のシンボルとして切手にデザインされている傾向である。逆に、国宝の犬山城、彦根城はシンボルとしては抵抗があるのか少ない。第2は切手の種類が圧倒的にふるさと切手に偏っていることであり、地域のシンボリックな存在として扱われている(名古屋城は空襲で焼失した国宝名古屋城普通切手と名古屋開府350年切手の鯉をふくむ)。広重

表3 城を描いた切手の分類

特定箇所	評価	切手			合計	対象物	
		ふるさと	特殊	普通		建築物	文化財
首里城	遺産	6	3		9	9	
名古屋城		4	1	戦前3	8	7	1
熊本城		7			7	7	
姫路城	国宝	1	4	2	7	7	
大阪城		4			4	4	
松本城	国宝	3	1		4	4	
彦根城	国宝	1	3		4	2	2
犬山城	国宝		1	国定1	2	2	

の浮世絵に描かれた城までを含めると約100種類の切手に城が描かれているが、70種類はふるさと切手であることも、地域のシンボルとして切手のデザインになっていることを示している。描かれている城は38ヶ所におよび、ふるさと切手に限って整理するならば丸岡城、岡山城、伊賀上野城、岐阜城、小田原城、松江城などが表3に記載されるべき存在であった。

また、江戸城がその内部の文化財を含めて多く切手に描かれている。

次に、寺社の所蔵する仏像等に倣い、切手になった、トリミングされた絵画、工芸品等を所蔵する博物館、美術館等を整理して見たい。この



左 戦前は国宝指定を受けていた名古屋城 上 陽明門、富士山と風景切手になって文化財として位置づけられた名古屋城切手

東京国立博物館法隆寺館で常時見られる摩那夫人像 左下 山種美術館所蔵 炎舞 東京芸大所蔵 鮭

所蔵機関を知ることは最近の切手に関しては郵便会社のホームページ等で正確に知ることが出来るが、過去のものは非常に困難である。日専カタログでさえ作品名、作者を知ることがやっとである。美術館で思わぬ切手の原画に遭遇することがある。せめて、切手になった作品リストを持って美術館巡りが出来ないか考えて、トリミングされた作品を所蔵する博物館、美術館等を調べた。まず、機関別に所蔵品数を整理した。すべてを確認してから検討すべきであろうが、とても困難であるので、289件で一つの試みとご容赦いただきたい。(表4. 寄託品も含む)

東京国立博物館、大名家関係博物館、都内の故人コレクションを公開した美術館の所蔵品が多く見られるが、東京国立博物館の所蔵品が圧倒的に多く、他の国立博物館の少ないことが注目された。徳川美術館は源氏物語絵巻、東京国立近代美術館、山種美術館、芸大

所蔵場所	所在	切手				合計
		ふると	通常	特殊	年賀	
東京国立博物館	東京	1	20	70	1	92
徳川美術館	名古屋	1		14		15
出光美術館	東京	1		13		14
平木浮世絵美術館	東京			13		13
東京国立近代美術館	東京			12		12
MOA美術館	熱海			11		11
宮内庁三の丸尚蔵館	東京			11		11
山種美術館	東京			7		7
東京芸術大学美術館	東京			7		7
林原美術館	岡山			5		5
個人			1	4		5
五島美術館	東京			5		5
永青文庫	東京			4		4
松井文庫	八代			4		4
大和文華館	奈良			4		4
逓信総合博物館	東京			4		4



美術館は近代美術シリーズ切手関係の作者の絵画、三の丸尚蔵館は伊藤若冲の絵画、出光美術館が酒井抱一の絵画を所蔵しているなど各機関の特徴が切手にも現れたことが表4の数字となっている。また、個人所蔵の文化財が数は少ないが切手にデザインされていた。更に、国宝の所蔵をみると(表5)、幾分、東京国立博物館の割合がひくくなっている。一方、徳川美術館が割合が高くなっているのは源氏物語絵巻の所蔵とそれに加えて宿木の部分が5種類の切手に描かれていることによる。特に宿木三(部分)は3種の切手にデザインされており絵画では見返り美人に次いで多く切手になっている。

表5 国宝の所蔵場所と切手数

所蔵場所	数
東京国立博物館所蔵	36
徳川美術館所蔵	11
五島美術館所蔵	3
大和文華館所蔵	3
MOA美術館所蔵	2
個人所蔵	2
出光美術館所蔵	2
彦根城博物館所蔵	2
根津美術館所蔵	1
静嘉堂文庫美術館所蔵	1
石川県立美術館所蔵	1
奈良国立博物館所蔵	1

最後に、美術館等をお訪ねの機会にポケットに持っていたいただき、なつかしい切手を手にしていただければと思ひ所蔵品リストを載せておきます。多々、誤りがあるだろうと思います。ご教示下さい。本年3月の切手教室で配付されたレジュメを参考に追加、訂正しました。(編集子)

美術館・博物館で見られる切手リスト

東京国立博物館

種類	年	名称	文化財
普通	1939	第1次昭和	梅蒔絵手箱
特殊	1948	1948 切手趣味週間	見返り美人
特殊	1949	1949 切手趣味週間	月に雁
普通	1955	第1次円単位	八橋蒔絵螺鈿硯箱
特殊	1955	1955 切手趣味週間	ビードロを吹く娘
特殊	1957	1957 切手趣味週間	まりつき
特殊	1962	1962 切手趣味週間	花下遊楽図屏風
普通	1962	第2次円単位	風神
普通	1966	第1次ローマ字入り	はにわ馬
特殊	1968	第1次国宝シリーズ	普賢菩薩
特殊	1968	第1次国宝シリーズ	片輪車螺鈿蒔絵手箱
特殊	1968	第1次国宝シリーズ	平治物語絵詞
特殊	1969	第1次国宝シリーズ	秋冬山水図
特殊	1969	第1次国宝シリーズ	松林図屏風
特殊	1969	第1次国宝シリーズ	檜図屏風
特殊	1969	第16回UPU会議	文をよむ女
特殊	1969	第16回UPU会議	文読み
特殊	1970	万国博覧会 第2次	夏秋草図
年賀	1973	年賀昭和49年用	梅竹透釣燈籠
特殊	1974	1974 国際文通週間	松に鷹
普通	1974	第4次ローマ字入り	埴輪 挂甲の武人
特殊	1978	第2次国宝シリーズ	舟橋蒔絵硯箱
特殊	1978	第2次国宝シリーズ	納涼図屏風
特殊	1980	近代美術シリーズ	阿弥陀堂
特殊	1980	近代美術シリーズ	舞妓
普通	1980	花・貝・文化財	法隆寺金銅小幡
普通	1981	花・貝・文化財	法隆寺弥勒菩薩
普通	1981	花・貝・文化財	摩那夫人像
特殊	1981	1981 切手趣味週間	見立夕顔
普通	1981	花・貝・文化財	ハート型土偶
特殊	1981	近代洋風建築	表慶館
特殊	1981	近代美術シリーズ	麗子微笑
特殊	1983	近代美術シリーズ	無我
特殊	1983	近代美術シリーズ	老猿
特殊	1987	1987 切手趣味週間	化粧の女
特殊	1987	1987 切手趣味週間	髪漉ける女
普通	1989	花・貝・文化財	はにわ
特殊	1989	第3次国宝シリーズ	神人車馬画像鏡
特殊	1990	1990 切手趣味週間	星を見る女
特殊	1990	馬と文化シリーズ	芦穂蒔絵鞍
特殊	1990	馬と文化シリーズ	芦穂蒔絵鏡
特殊	1990	1990 国際文通週間	鳥獣人物戯画
特殊	1992	日中国交正常化 20	色絵月梅図茶壺
特殊	1992	日中国交正常化 20	唐三彩龍耳瓶
特殊	1992	1992 国際文通週間	平治物語絵巻牛車
特殊	1992	1992 国際文通週間	平治物語絵巻弓
特殊	1994	平安建都 1200 年	観楓図
普通	1995	日本の自然	四季花鳥図巻下巻
特殊	1995	1995 国際文通週間	月次風俗図屏風
普通	1996	日本の自然	松鷹図
特殊	1997	1997 国際文通週間	隅田川堤雪の眺望
特殊	1997	1997 国際文通週間	四季花鳥図巻
特殊	1997	1997 国際文通週間	四季花鳥図巻
特殊	1997	1997 国際文通週間	四季花鳥図巻
特殊	1997	1997 国際文通週間	東海道五十三次
特殊	1998	1998 切手趣味週間	芥子

種類	年	名称	文化財
特殊	2003	郵政公社設立	四季花鳥図巻
特殊	2003	江戸開府 400 年	火事羽織
特殊	2003	江戸開府 400 年	市川團十郎竹拔五郎
特殊	2005	古今和歌集奏覧 1100	小野小町
特殊	2005	古今和歌集奏覧 1100	藤原定家
特殊	2006	2006 切手趣味週間	朝顔狗子図杉戸
ふる	2007	江戸と粋の浮世絵	姿見七人化粧
特殊	2008	源氏物語一千年紀	紫式部日記絵巻



個人所蔵ハート型土偶 三の丸尚蔵館所蔵 伊藤若冲画
東京国立博物館寄託 紅葉小禽図
三の丸尚蔵館

種類	年	名称	文化財
特殊	1990	馬と文化シリーズ	厩図屏風
特殊	1998	1998 国際文通週間	動植採集絵
特殊	2000	2000 切手趣味週間	龍虎図
ふる	2000	柳とカエル	小野道風
特殊	1993	日本ボルトガル友好年	南蛮人渡来図屏風
特殊	2005	2005 切手趣味週間	大鶏雌雄図

山種美術館

種類	年	名称	文化財
特殊	1979	近代美術シリーズ	炎舞
特殊	1979	近代美術シリーズ	裸婦図
特殊	1981	近代美術シリーズ	筍
特殊	1994	1994 切手趣味週間	ハナショウブ
特殊	1995	近代解剖教育	腑分け
特殊	1997	1997 切手趣味週間	醍醐
特殊	2008	2008 切手趣味週間	葡萄

出光美術館

種類	年	名称	文化財
特殊	1991	1991 国際文通週間	伴大納言絵巻
特殊	2003	江戸開府 400 年シリーズ	江戸名所図屏風
特殊	2007	郵便民営会社発足記念	十二月花鳥図屏風
特殊	2007	郵便民営会社発足記念	四季花木図屏風



出光美術館所蔵 伴大納言絵巻

東京芸術大学美術館

種類	年	名称	文化財
特殊	1965	1965 切手趣味週間	序の舞
特殊	1979	近代美術シリーズ	慈母観音像
特殊	1979	近代美術シリーズ	収穫
特殊	1980	近代美術シリーズ	鮭
特殊	1981	近代美術シリーズ	一葉
特殊	1991	馬と文化シリーズ	春暖

東京国立近代美術館

種類	年	名称	文化財
特殊	1968	1968 趣味週間	舞妓休泉
特殊	1972	1972 趣味週間	気球揚る
特殊	1974	沖縄海洋博覧会募金	荒磯
特殊	1979	近代美術シリーズ	もたれて立つ人
特殊	1979	近代美術シリーズ	金蓉
特殊	1980	近代美術シリーズ	母子
特殊	1980	近代美術シリーズ	女
特殊	1982	近代美術シリーズ	サルタンバンク
特殊	1983	近代美術シリーズ	雪柳と海芋に波斯の壺
特殊	1988	1988 趣味週間	長襦袢
特殊	1991	1991 趣味週間	序の舞
特殊	1992	1992 趣味週間	榻上の花



東京国立近代美術館所蔵 平福百穂画 荒磯

通信総合博物館

種類	年	名称	文化財
特殊	2007	郵便民営会社発足記念	郵便現業絵巻



通信総合博物館所蔵 郵便現業絵巻 第5図 東京郵便電信局の郵便為替貯金窓口ロビー

徳川美術館

種類	年	名称	文化財
特殊	1963	1963 趣味週間	千姫
特殊	1989	1989 国際文通週間	源氏物語絵巻竹川
特殊	2003	江戸開府 400 年	花色日の丸威胴丸具足
特殊	2003	江戸開府 400 年	初音蒔絵硯箱
特殊	2003	江戸開府 400 年	能面「中将」
特殊	2008	源氏物語 1000 年	紫式部日記絵巻

MOA 美術館

種類	年	名称	文化財特殊
特殊	1969	第1次国宝シリーズ	紅白梅図屏風
特殊	1977	1977 趣味週間	機織図屏風
特殊	1979	相撲絵シリーズ	大童山土俵入り
特殊	1986	国際図書館連盟会議	浮世絵
特殊	1994	1994 国際文通週間	士女遊楽図屏風
特殊	1969	第16回 UPU 会議	文をよむ女

永青文庫

種類	年	名称	文化財
特殊	1968	1968 趣味週間	髪すき
特殊	1979	近代美術シリーズ	黒き猫
特殊	2007	2007 趣味週間	猪図



徳川美術館所蔵
花色日の丸威胴丸具足
平木浮世絵美術館



永青文庫所蔵
森一鳳画 猪図

種類	年	名称	文化財
特殊	1998	1998 国際文通週間	著色花鳥版画
特殊	2003	2003 国際文通週間	東海道五十三次